

令和 8 年 10 月 9 日
大臣官房参事官（イノベーション）

インフラ DX・AI の取組に関する「対話型 AI アンケート」の実施 ～AI を活用し、i-Construction10 年の取組を振り返り次なる改善へ～

国土交通省は、i-Construction やインフラ DX、AI 利活用の更なる推進に向け、AI が対話形式で質問を行い、回答内容を深掘りする「対話型 AI アンケート」の試行を、i-Construction・インフラ DX コンソーシアム会員（以下、コンソーシアム会員）を対象に実施します。アンケートでは、i-Construction の取組開始から約 10 年間の変化や、AI を含めた今後取り組むべき課題等について幅広く意見を収集し、今後の施策検討やコンソーシアム活動の充実に活用します。

国土交通省では、建設現場の生産性向上を目的として i-Construction を推進するとともに、データとデジタル技術を活用して社会資本や公共サービスを変革するインフラ分野の DX さらに先般公表した「インフラ分野の AI 実装に向けた取組方針」（https://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo08_hh_001361.html）に基づき AI の現場実装に取り組んでいます。

今後のインフラ DX や AI に関する施策を一層効果的に推進するため、AI が回答内容に応じて追加質問を行い、回答者の経験や問題意識を対話形式で深掘りする「対話型 AI アンケート」を試作し、会員向けのアンケートを実施します。今回の取組を通じて、より多くのコンソーシアム会員の意見を改善に繋げるとともに、AI を活用した効率的な意見収集手法の有効性なども合わせて検証することとしています。

対象者： i-Construction・インフラ DX コンソーシアム会員

実施期間： 令和 8 年 10 月～11 月末

実施方法： コンソーシアム会員が利用可能な専用サイト上で、AI との対話形式によるアンケートを実施

主なテーマ： i-Construction 取組開始から約 10 年間で変化したこと、十分に变化していないことや現場の課題、さらに AI を含め今後重点的に取り組むべき事項など

その他： コンソーシアム会員への新規申し込みは以下を参照ください。

<https://www.mlit.go.jp/tec/i-construction/apply/index.html>

【問合わせ先】

大臣官房参事官（イノベーション）グループ 課長補佐 西上（内線 22339）
係長 藤井（内線 22326）
代表：03-5253-8111 直通：03-5253-8219

○ AIとの対話形式で“課題背景”や“取組状況”に応じたアンケートを収集・施策反映に活用

① 複数テーマから意見提出の題材を選択

AI INTERVIEW

01

回答受付中

政策に関するご意見

i-Construction・インフラDXに関する政策動向、現場での影響、期待や課題について伺います。

AI INTERVIEW

02

回答受付中

建設現場における生成AI活用

生成AIの活用状況、期待する効果、導入上の不安や必要な支援について伺います。

AI INTERVIEW

03

回答受付中

i-Constructionの取り組み開始から10年で変化したこと

i-Constructionの取り組みが始まってから約10年。建設現場や関連業務で実際に変化したこと、今も変わらないことについて伺います。

AI INTERVIEW

04

回答受付中

建設現場におけるフィジカルAI活用

建設現場でのフィジカルAIの活用について、理解度や検討状況、期待する効果、実装に向けた課題を伺います。

概要を見る →

② 「対話型AIアンケート」画面

ありがとうございます。ここから「建設現場における生成AI活用」について伺います。

生成AIについて、現在感じている期待や懸念を自由に教えてください。

AIの技術進展の中で各企業がどのようにAIの実装に取り組めば良いか。

技術進展の速さを踏まえ、実装の進め方に関心をお持ちなのですね。まず、現在、生成AIを実際の業務や研究で利用していますか？

利用している

試行中

利用していない

回答を入力してください

送信

終了して要約

質問に関連する国交省資料を参照データとして登録し、応答の深掘りに活用

AI

AI

対話・参照